

報道関係各位

会社名 株式会社 アドバンテッジ リスク マネジメント

代表者名 代表取締役社長 鳥越 慎二

(JASDAQ コード 8769)

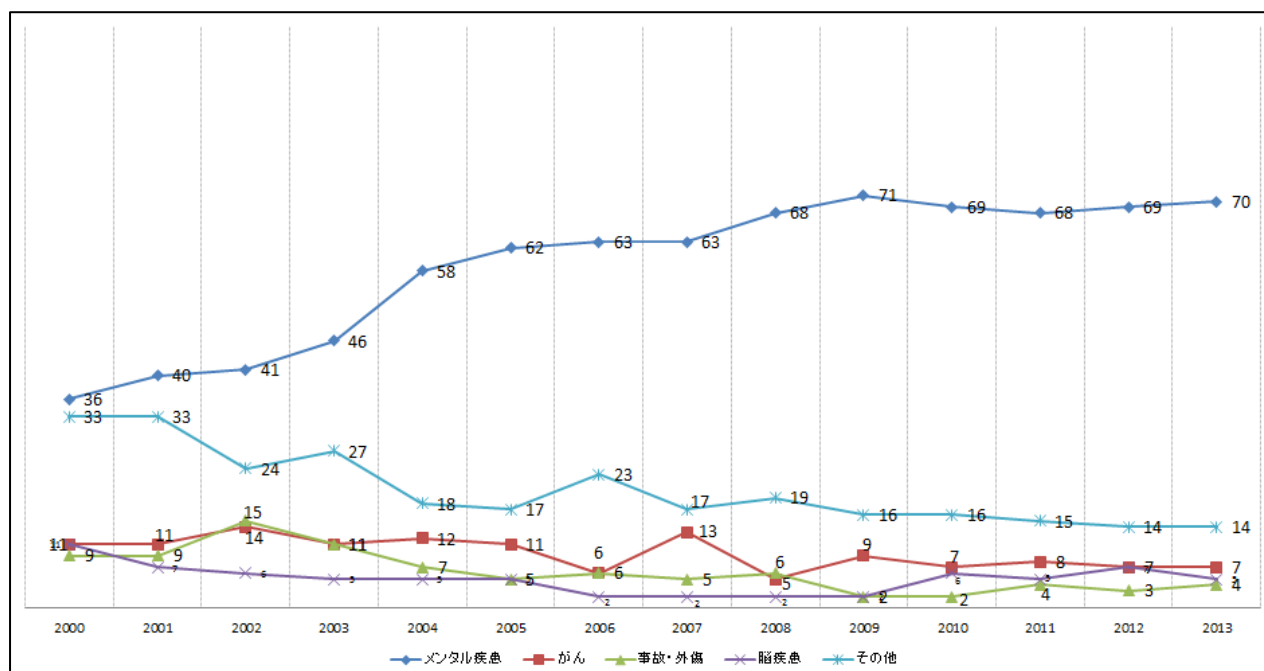
30 日以上の長期休業、「メンタル疾患」70%で高止まり

GLTD(団体長期障害所得補償保険)の長期休業理由を経年比較

株式会社アドバンテッジ リスク マネジメントは、専門代理店としてサービス提供している GLTD (団体長期障害所得補償保険) において、病気やケガなどの就業障害により 30 日以上の長期休業に至ったケースの原因について調査をいたしました。その結果、休業の原因として、うつ病を中心する「メンタル疾患」の割合が 70%となりました。

2000 年～2013 年におけるご契約企業の長期休業件数約 2 万件のうち、30 日以上の休業の事例を各年ごと 100 例を無作為に抽出し、14 年分 1400 件を調査したもので、休業の原因が「メンタル疾患」の割合は、2008 年リーマンショック以降、約 70%の高い割合で推移しています。(表 1)

(表 1) 30 日以上休業の原因別割合



【調査期間】 2000 年 1 月 1 日～2013 年 12 月 31 日

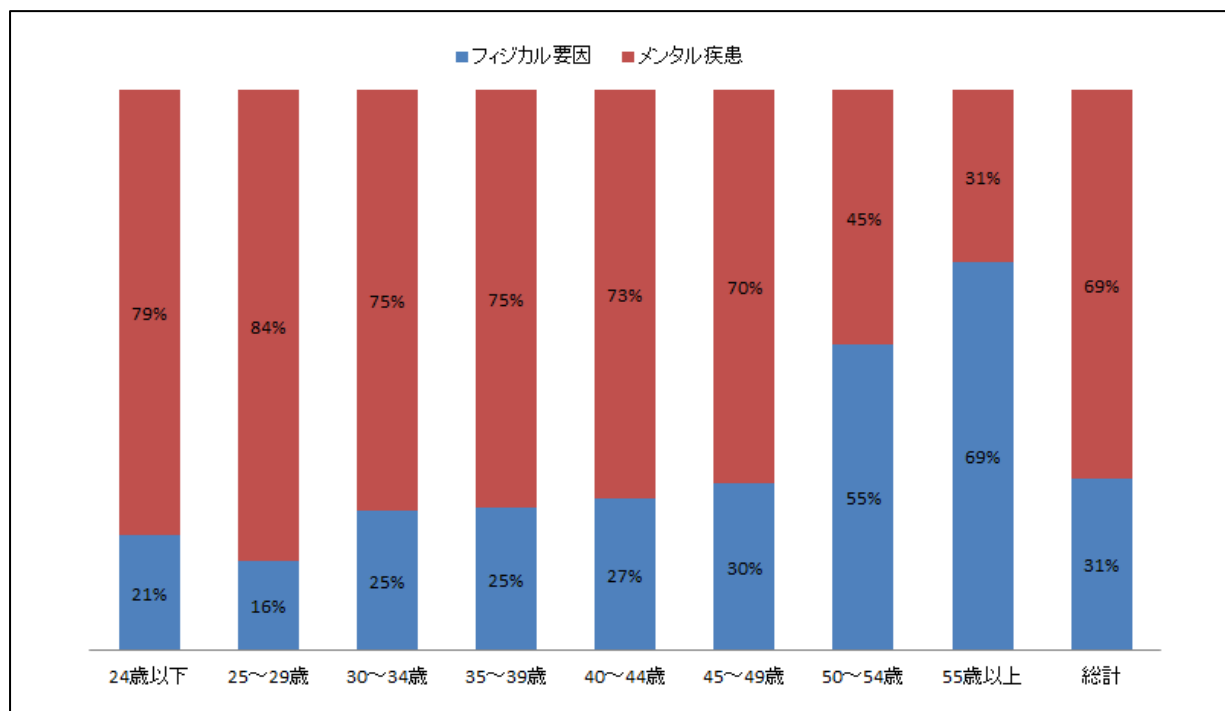
【サンプル数】 各年 100 例を抽出、計 1,400 例

【その他の内訳】

筋骨格・関節、消化器、心臓・血管、妊娠・出産、内分泌、栄養、代謝疾患、呼吸器、皮膚、女性の特有の病気、腎臓・尿路血液・免疫、感染症、耳・鼻・喉、眼 など

上記データのうち、2009 年～2013 年の 5 年間のデータから、就業障害の原因についてメンタル疾患以外をフィジカル要因とし、年齢別に比較しました。40 代までは、フィジカル要因よりもメンタル疾患の方が割合が高く、50 代ではフィジカル要因の割合が大幅に上がります。(表 2)

(表2) 年代別 就業障害のメンタル疾患・フィジカル要因の割合



【調査期間】2009年1月1日～2013年12月31日 【サンプル数】各年100例を抽出、計500例

全体の約70%がメンタル疾患での休業であり、若年層だけでなく、40代までの中年層でもメンタル疾患での休業が、フィジカル面での要因より割合が高くなっています。厚生労働省の調べでは、メンタルヘルス対策に取り組んでいる事業所の割合は年々上昇しておりますが、メンタル疾患の割合は減少しておらず、一層の取り組みの強化が必要だと考えられます。

本年12月より施行される「労働安全衛生法の一部を改正する法律（通称：ストレスチェック義務化法）」により、メンタル面での従業員の健康管理が必須となります。効果的なメンタルヘルス対策を行うために、ストレスチェックの実施による要対応者の事前把握、メンタル不調予防のための組織風土改革など、成果の出る対策に取り組むことが求められます。あわせて、メンタル疾患による長期休職リスクに備えた補償制度（GLTD）の導入など、従業員が「安心して働ける環境」を整えることも重要です。当社では、今後も課題に取り組む企業・団体を幅広く支援してまいります。

【GLTD(団体長期障害所得補償保険)とは】

GLTD(団体長期障害所得補償保険)は病気やケガで長期にわたって働けなくなった場合に、最長で定年年齢まで所得の減少を補償する保険を活用した制度です。

【株式会社アドバンテッジリスクマネジメント 会社概要】

設立：1999年3月 代表取締役社長：鳥越慎二
事業内容：メンタリティマネジメント事業、就業障がい者支援事業、リスクファイナンス事業
上場証券取引所：東京証券取引所 JASDAQ 市場（スタンダード）（証券コード 8769）
所在地：〒153-0051 東京都目黒区上目黒 2-1-1 中目黒 GT タワー17 階

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社 アドバンテッジ リスク マネジメント <http://www.armg.jp>
経営企画部 熊澤 一晃
TEL:03-5794-3890 FAX:03-5794-3879